

令和4年度 かいせい東川 事業計画書

1 計画の概要

令和4年度も新型コロナウイルスの影響が続くとみられ、授産事業の売り上げ確保や、事業所内の感染予防対策など難しい問題に対して引き続き取り組みながら、より一層、利用者主体の支援を充実させていくことを事業計画の柱とする。

2 利用定員 40名 (就労継続支援事業B型)

主たる事業所「かいせい東川」30名+従たる事業所「オリーブ」10名

3 職員定数 施設長1名、支援課長1名(支援員と兼務)、主任1名(支援員と兼務)、サービス管理責任者1名、

支援員8名(常勤3名、非常勤5名) ※うち常勤1名は従たる事業所専属

4 事業運営基本計画(方針)

障がいのある人たちが、住み慣れた地域で作業や生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、利用者の個性や障がい特性を尊重した施設運営に努めていく。

5 今年度の重点目標

- ・かいせい東川とオリーブでの連携を深め、職員の協力体制、授産事業の連携などを深める。
- ・作業の工程や支援の方法などを職員間で改めて確認、統一し、利用者支援の充実を図る。
- ・食品衛生管理や食品表示などの法改正に対応し、より安全な商品づくりを心がける。

6 利用者への支援

(1) 作業支援

個々の支援計画を基に、作業工程の細分化、補助具等を利用し、利用者個々の能力を引き出し、労働の対価として工賃を得ることの喜びが持てるよう支援する。

(2) 生活支援、健康管理

利用者個々の心身の健康状態を把握するとともに、新型コロナウイルス等の感染拡大状況を見据えたうえで年数回の行事やレクリエーション等も取り入れる。また、地域で生活を送る上で必要な社会的一般常識やマナー習得の支援を行う。

(3) 環境の整備

施設内外の美化と整理整頓に努め、作業の効率化や危険防止に留意する。

7 生産活動内容

- ・パンの製造、販売
- ・焼き菓子の製造、販売
- ・クッキーの製造、販売
- ・「パンの店オリーブ」の運営

<重点目標>

- ・新型コロナウイルスの影響で当該年度もイベントや販売先の減少が見込まれるため、季節商品の販売や、注文販売の拡大などを検討する。

- ・品質保持と安定した製品の供給
- ・新商品、関連商品の開発

8 防災計画

防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。

9 感染予防対策

感染予防対策の徹底と、衛生用品の備蓄。研修の実施や、マニュアルの整備。

10 開所日・利用時間

平日 9：00～16：00 休所日： 土日祝、年末年始、開所記念日

11 行事

健康診断（利用者・職員）、レクリエーションまたは自治会活動（年2回程度）

12 実習生・ボランティアの受入れ

学校や地域からの要望があれば、実習生やボランティアを受け入れる。

13 職員研修

施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、支援技術、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。

14 資金計画

通常の運営経費は訓練等給付費収入でまかなう。

令和4年度 ふっと 事業計画書

1 計画の概要

新型コロナウイルスの影響により、令和4年度も活動が大きく制限されるものと考えられる。感染予防対策を十分行ったうえで、利用者が楽しく活動できるよう取り組んでいくことを事業計画の柱とする。

2 利用定員 60名 (生活介護)

3 職員定数 施設長1名、支援課長1名(支援員と兼務)、
サービス管理責任者1名、
支援員11名(常勤5名、非常勤6名)
看護職員3名(非常勤)、嘱託医1名

4 事業運営基本計画(方針)

障がいのある人たちが、住み慣れた地域で活動や生活ができるよう、それぞれの能力に応じた支援計画を作成し支援するとともに、利用者の個性や障がい特性を尊重した施設運営に努めていく。

5 重点目標

- ・創作活動やレクリエーション活動などにおいて、利用者一人ひとりの希望や個性をより発揮できるように、プログラムや支援の内容を工夫し、改善していく。
- ・作業班では、利用者の適性や希望に合わせた生産活動を行い、一人ひとりの能力を活かしていく。
- ・権利擁護、防災、感染予防など、利用者の安全や安心に対する取り組みを進める。

6 利用者への支援

(1) 活動班における創作活動・生活支援

利用者が地域でより豊かな生活を送るため、創作活動・レクリエーション・日常生活等に重点を置き、個別支援計画を作成しそれに基づき継続的に支援する。

(2) 作業班における作業支援

個別支援計画を基に、作業工程の細分化、補助具等を利用し、作業班に属する利用者一人ひとりの能力を引き出せるよう支援する。

(3) 環境の整備

施設内外の美化と整理整頓に努め、活動や作業の効率化や危険防止に留意する。

7 活動内容

創作活動(アート、音楽):活動に対して意欲を持てるよう展示や発表の場なども設ける。

レクリエーション：新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底したうえで、個々の希望に応じた活動を用意し、楽しく日中生活を送れるようにする。

作業（軽作業、雑貨製作）：作業を通して、日中活動の喜びを持てるようにする。

8 防災計画

防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。

9 感染予防対策

感染予防対策の徹底と、衛生用品の備蓄。研修の実施や、マニュアルの整備。

10 開所日・利用時間

平日 9：00～16：00 休所日： 土日祝、年末年始、開所記念日

11 行事

健康診断（利用者・職員）、調理実習、国際交流、クリスマス会等
新型コロナウイルスの感染予防に十分留意した計画を立てる。

12 実習生・ボランティアの受入れ

社会福祉士実習生やボランティアを数名程度受け入れ予定。

13 職員研修

施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。

14 資金計画

通常の運営経費は介護給付費収入でまかなう。

令和4年度 グループホームわふと 事業計画書

1 計画の概要

新型コロナウイルスの影響により、令和4年度も外出や余暇活動などが大きく制限されるものと考えられる。感染予防対策を徹底し、利用者が安心して楽しく生活できるよう取り組んでいくことを事業計画の柱とする。

1 利用定員 4住居 合計26名 (共同生活援助事業)

住居名：「わふと」、「あみかる」、「あみかる・2」、「あみかる・3」

2 職員定数 管理者1名(常勤・兼務)、サービス管理責任者2名(常勤・兼務)、世話人8名(常勤5名、非常勤3名)、生活支援員4名(常勤4名)、夜間支援従事者9名(兼務)

3 事業運営基本計画(方針)

地域において共同して自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう個々の障がい、身体的機能の状態に配慮した住居において、入浴、排泄及び食事等の介護、相談その他の日常生活上の支援を行うことを基本方針とする。

4 重点目標

- ・個別支援のさらなる向上を図るため、職員の支援技術を向上する。
- ・収入、支出の見直しを図り、グループホームの安定した運営をめざす。
- ・権利擁護、防災、感染予防、事故防止など、利用者の安全や安心に対する取り組みを進める。

5 利用者への支援

- (1) 支援内容をふまえ、本人や家族のニーズに合わせた個別支援計画の作成
- (2) 支援計画に合わせた評価を定期的実施
- (3) 日常生活での個別支援、個別相談
- (4) 健康管理、通院支援

6 防災計画

防災計画を見直すとともに、避難訓練等を年2回実施する。

7 感染予防対策

感染予防対策の徹底と、衛生用品の備蓄。研修の実施や、マニュアルの整備。

8 開所日・利用時間

特定の休所日や利用時間は無し。

9 行事

新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底した上で、年数回程度の行事を実施する。

10 職員研修

施設の適正な運営を図るため職員の資質の向上に努め、権利擁護、防災、感染予防、事故防止など必要な研修を実施する。

11 資金計画

通常の運営経費は利用料収入と訓練等給付費収入でまかなう。